

## 2016年度岡崎別院報恩講のご案内

本年度も当院の報恩講が近づいてまいりました。  
下記の日程にて厳修いたします。ご多用のおりとは存じますが、  
万障お繰り合わせの上、何とぞご参勤・ご参詣いただきますよう、  
よろしくお願ひ申し上げます。

記

日時 10月23日（日）  
午前10時～

信悟院殿御参修  
樂有 岡崎別院雅楽会  
講師 真城 義麿 師  
(元大谷中高等学校長、真宗大谷学園専務理事)  
講題 「まさに願わくは衆生とともに」



※お持ち帰りいただけるお斎をご用意いたします。準備の都合上、  
10月19日（水）までに返信用はがき、または電話・FAX・メールで  
ご連絡いただきますようお願い申し上げます。



昨年度報恩講の様子

第29号  
平成28年  
(2016年)  
10月・11月  
・12月号  
発行：編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大

○十月二十三日（木）九時半～	○十一月十三日（木）九時半～	○十二月十三日（火）九時半～
○十一月二十三日（日）九時半～	○十二月二十三日（水）九時半～	○十二月二十三日（日）九時半～
○十二月二十三日（金）九時半～	○十一月二十三日（水）九時半～	○十一月二十三日（日）九時半～
○十二月十八日（土）十時～	○十二月三十一日（土）十五時～	○十二月三十一日（土）十五時～
○十二月三十一日（土）十五時～	○十二月三十一日（土）十五時～	○十二月三十一日（土）十五時～

★☆二〇一七年十二月二十九日	★☆十一月十九日	★☆十一月二十二日	★☆十一月二十七日	二〇一六年九月十日挙式
※詳細はホームページをご覧下さい	リュウシユ	古橋	西村	奈良 信幸さん
二月二十六日	石伊・井藤家	・松居家	・荒木家	美季さん
二〇一七年二月二十六日	・船橋家	・衣川家	・清家家	本田 秀平さん
二〇一七年二月二十六日	多田	谷口	西村	郁子さん



二〇一六年六月二十五日挙式  
奈良 信幸さん  
美季さん  
鯫島 太一さん  
綾乃さん  
二〇一六年六月十九日挙式  
本田 秀平さん  
郁子さん

**列座のつぶやき**

当別院にてお世話をになり半年が過ぎました。  
「過ごしました」と言えないほど、日々追われ、  
気付けば夏も終わっておりました。非常勤の  
座も増え、本来ならまだ足りないことが、あ  
るにもかかわらず「これは出来るようになった」  
あれも出来るようになつた」と慢心し、小さ  
なことを見落とすことも増えてきました。  
何を思つてここへ来たのか、着任当時はど  
んなことを考えていました。いたのかをあらためて自分に問  
い直す日々です。

（近藤）

五月より岡崎別院の非常勤の  
列座となりました小早川涉です。山城第二組願  
隆寺の副住職をしております。列座としては新米  
少しだけ力になれたらと思うことです。よろしくお願  
いいたします。

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派(東本願寺)

## 岡崎別院

〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町  
26番地

電話・FAX 075-771-2921

<http://okazakibetsuin.com>  
[info@okazakibetsuin.com](mailto:info@okazakibetsuin.com)



## 新任列座ご挨拶



公開講座後の座談会



富岡師の公開講座



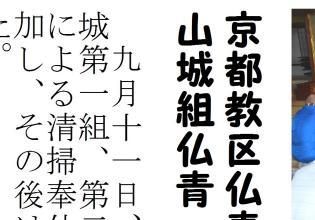
第十三回開催時の託児所

第十三回講師  
佐賀枝 夏文 師

境内清掃



清掃終了後のバーベキュー



## 清掃奉仕



おみがき



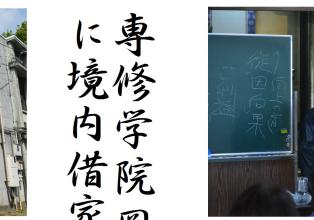
おみがき終了後の法話を聞く参加者



境内地内借家



専修学院岡崎学舎



専修学院岡崎学舎、食堂並びに境内借家についてご報告

境内地内借家 岡家はこれまで空き家となり壊されたり、境内を歩いていたりする予定とあります。岡崎はこれにより、境内を歩いていたりする予定とあります。

専修学院岡崎学舎とあわせて境内を歩いていたりする予定とあります。岡崎はこれまで空き家となり壊されたり、境内を歩いていたりする予定とあります。

境内地内借家 岡家はこれまで空き家となり壊されたり、境内を歩いていたりする予定とあります。岡崎はこれまで空き家となり壊されたり、境内を歩いていたりする予定とあります。

専修学院岡崎学舎とあわせて境内を歩いていたりする予定とあります。岡崎はこれまで空き家となり壊されたり、境内を歩いていたりする予定とあります。

## 蓮華の集い公開講演会

### 第十二回蓮華の集い

真宗大谷派大谷婦人会岡崎別院支部主催の「蓮華の集い」は、五月七日に公開講演会が開かれ、主に幼稚園教諭・保育園保育士に向け講座が行われた。講師は富岡量秀師で、「そだつ」をテーマにスクリーンを使用して講演いただいた。終了後には教諭・保育士の座談会が開かれた。

六月十三日には第十三回が行われ、約二十名が参加した。講師は佐賀枝夏文師。第十三回終了後には茶話会、託児所が開かれ参加者同士にて座談会が行われた。

## 蓮如上人御一代記聞書一二九

今年の夏は「猛暑」であった。人に会えば「暑いですね」が合い言葉であった。お盆のお参りも終わり、境内の雑草が気になり、炎天下草抜きをしながら、「昔もこんなに暑かったのかなあ」とつくづく考えさせられた。昔はクーラーなどない家庭が大半であった。しかしながら玄関や家の前に打ち水をし、床机を出し、向こう三軒両隣のご近所が外へ出てきて、団扇を扇ぎながら、世間話や政治や社会問題まで語り合い、「涼」を楽しんでいたのを憶えている。しかしながら、現在ではほとんど見受けないことのない光景になってしまった。

現在では、クーラーもほとんどの家庭に普及し、家に帰れば自分の部屋から出ることはない。そこには、近隣との会話や家庭での会話すら皆無な状態になっているのが実情である。さらには、顔の見えない相手との文字交換（メール）、バーチャルな映像を追いかけのゲーム（ポケモンGO）など、つまりは人間本来の、相手の顔を見目を見、表情を感じながらの会話が、生活の中から消え去りつつある現実がある。また、人間の厄介さや人間の暖かさを感じ取ることが困難な状態の日暮らしだけがそこにあると言つても過言ではない。

先日、近隣の「地蔵盆」のお参りに行つたところ、皆さんが異口同音に「最近は子どもが少ないのでなかなか人が集まらなくて大変なんです」と言われる。それを聞き、子どもが少ないのも大きな要因ではあるが、我々大人が他人とのかかわり方を忘れてしまつていても現実である。

宗祖や蓮如上人の教化の活動は、高みに立つて一方的に法話をされたり相手の顔を見、目を見、表情を感じながらの会話から始められたのである。相手の表情の中から、人の苦しみや悩みを感じ取りながら、他人とかかわり合われたのではないか。そこにあるように思う。実はそのことを、年中法衣を身に付けて生活している私自身が一番忘れているということを、「猛暑」からまた「地蔵盆」のお参りから知られたことである。

## 岡崎別院おみがき

七月十八日、暁天講座に向けて仏具のおみがきが行われた。別院御門徒、三日講員など十五名にご参加いただいた。

作業を数名ずつで分担し、本堂と書院の仏具を磨き、終了後、ミニ法話の後、書院で手作りカレーを全員でいただいた。

## 盂蘭盆会

八月十三日、当院にて暁天講座（朝の法話）が開催された。蒸し暑い日や雨天の日もあつた中、毎日とも満堂となり、三日間合計の参詣者は約二百八十名に上った。受付は山城第二組内住職や別院三日講員の方々にお手伝いいただいた。

## 二〇一六年度岡崎別院 暁天講座（朝の法話）

各回の講師と講題は左記の通り。

二十五日	藤戸 秀庸 師	「生活即念佛」
二十六日	三島 多聞 師	「南無のかたち」
二十七日	安富 信哉 師	「親鸞聖人とお念佛」

寺院関係者の皆様には、多々ご協力いただきました。この講座にあたり、講師・参詣者の皆様、並びに三日講員、紙面を借りてあらためて御礼申し上げます。

安富 信哉 師

三島 多聞 師

藤戸 秀庸 師

当日の山門

本堂参詣者